

大方高校

防災だより

No. 4

編集

平成30年9月18日発行

平成30年度防災委員
地域学選択生徒

■被災地訪問：宮城県（8月24日～26日）

私は今回、初めて実際の被災地を訪問しました。津波の到達地点があまりにも高く、驚きを隠せませんでした。南海トラフ地震では津波の到達がとても速いので、日頃の防災意識を高める活動はとても大事なことだと感じました。

多賀城高校との交流会では、まち歩きをして津波高標識の設置や津波の痕が消えないようにスプレー加工するなどの多賀城高校の津波を伝えていく活動に関心を持ちました。今回の被災地訪問で学んだことをこれからの防災活動に活かしたいと思います。



津波は
この高さまで
きたそうです



■わたしの備え

新コーナー「わたしの備え」第一回は石丸先生にお話を聞きました

自宅に防災リュックを常備しています。中身は懐中電灯や軍手、お箸やスプーンなど。

リュックは布団の横に置いてあります。寝ているときに地震が起きたらすぐ持っていけるように。災害時、やっぱり皆で助け合いたいから、この

リュックが少しでも役に立てたらいいなと思っています。ただこのリュック、



実用品だけで食料が入っていないんです。これから食料も少し準備していきたいですね。

防災リュックのほかに、家具をなるべく置かないようにしたり、二階で寝るようにしたり、日

ごろから気を付けています！
備えあれば憂いなし！



■防災プチ知識

「緊急避難指示」は「すぐに避難しないと死ぬかもよ？」というお知らせです。

7月の豪雨では8日の朝、四万十市全域に「避難指示」が発令されました。が、避難しなかったひとが多いと思います（自分を含めて）四万十市内のお店も普通に営業していたし、周りも誰もしてなかったし。バイトもあったし、遊んでいたし、そもそも知らなかったし。いろんな理由があったと思いますが、四万十川が氾濫していたら愛媛や岡山に起こったことが四万十市でも起こります。四万十市は市内も古津賀も具同も安並も5m以上の浸水が予想されています。5m以上の水が来たら2階まで余裕で浸かってしまいます。今回は大丈夫でした。でも、次は川があふれ家が浸かるかもしれません。

地震と津波だけが防災ではありません。「避難準備」「避難勧告」「避難指示」これらの情報に注意をして生き延びる用意をしてください。でも3階以上の高さの逃げこめるところってないよねえ・・・じゃあ、学校に集合！